

5月のできごと まちかど クリッパ

すくすく3・9 ニッセの小屋でフリーマーケット

白老町の「子育てふれあいセンターすくすく3・9」で26日、「ときどきニッセフリーマーケット」が行われました。

センターの敷地内にある「ニッセの小屋」を使ったイベント。今回は、リサイクル子ども服と野菜の苗、雑貨などを販売しました。

ベビーサイズからそろえた子ども服は、すべて100円。来場した親子連れや妊婦たちは、「子どもは成長が早くてすぐに服が着れなくなってしまうから助かる」と話しながら品定めしていました。



▲ニッセの小屋では野菜の苗などを販売



▲どれも1000円のリサイクル子ども服

はまのマルシェが1周年感謝祭 朝ゆでカニや野菜が人気

白老町竹浦118の「はまのマルシェ」（太田由紀子代表）は3日、1周年感謝祭を開きました。

同店は昨年5月、白老産の海産物や野菜、白老牛ハンバーグ、焼き菓子などを販売する店としてオープン。感謝祭の日はあいにくの雨に見舞われましたが、町内外から多くの方が訪れ、サービス価格の朝ゆでカニやカニ汁、アスパラなどを買い求めていました。

太田代表は「町内外の皆さんに応援していただき1年頑張ってきました。これからも白老町の魅力ある特産品を紹介していきたい」と話していました。



▲地産産の野菜などが人気を集めた感謝祭

市美術博物館で無料開放 コンサートや各種体験楽しむ



▲薬玉作りに熱中する参加者

苫小牧市美術博物館は5日、こどもの日にちなんだ「ゴーゴーミュージアム」を開催しました。無料開放し、ロビーコンサートや各種体験コーナーが行われ、多くの市民でにぎわいました。

ロビーコンサートは市民有志でつくる市美術館友の会（佐藤郁子会長）が主催。市内のマリンバ奏者・山田沙紀さんが日本の唱歌の「花」や「浜辺の歌」など6曲を披露し、観客から多くの拍手が送られました。

体験コーナーでは、端午の節句に飾る魔除けの縁起物「薬玉（くすだま）」作りや、中庭展示に出品中の美術家・大森記詩さんを講師に迎えプラモデルのパーツを自由に組み立てて作品を作るワークショップなどが行われました。

薬玉作りを体験した豊川小6年の島崎桃加さんは「薬玉に使う5色のひもの意味なども教えてもらい勉強になりました」と笑顔で話していました。

この日は、小説「風の生涯」（辻井喬さん著）の挿絵を描いた洋画家・酒井信義さんの原画などを紹介する企画展「『風の生涯』と勇弘」も無料開放。来場者は、透明感のある色彩と繊細な線描の作品にじっくり見入っていました。



▲酒井信義さんの作品を展示する企画展「『風の生涯』と勇弘」

ビールで乾杯！？ あさひ児童センターでクッキング

苫小牧市あさひ児童センター（旭町2）で19日、「クッキング～ウィナーポテトドッグ作り～」が行われました。

ギョーザの皮に蒸してつぶし味付けしたジャガイモ、ウィンナーを載せて巻き、低温のホットプレートで転がしながらじっくり焼き上げたら出来上がり。

今回は、電子レンジで加熱してから泡立てたゼラチンをジュースの上に載せた「子どもビール」も作り、居酒屋風メニューで楽しみました。



▲グループごとに仲良く調理